

事業の背景・目的



祇園祭の
厄除け粽

祇園祭の厄除け粽、京料理や京菓子などに利用されてきた、京都市北部山間地域に自生するチマキザサ(通称名。和名：チュウゴクザサ)の再生のため、①効果的な防鹿柵設置、②次世代の担い手確保、技術継承支援、③チマキザサ流通促進、④普及啓発等を進める。これらを通じて、チマキザサを象徴とする地域の生態系を再生、保全し、この生態系の恵みから、経済的な循環するとともに、京都の文化を継承することを目指す。

事業の内容

事業①

【チマキザサ再生環境整備事業】

- ・当該地域でチマキザサの再生及び加工を担っている生産者の所有地にチマキザサをシカの食害から守る防鹿柵を設置。
- ・集落近傍でのチマキザサの保護面積の拡大。



事業②

【担い手確保及び技術継承支援事業】

- ・次世代の担い手を確保するため、事業地域の若年層をターゲットとして体験ワークショップ等を実施。
- ・アンケートも実施し、地域のチマキザサ活動への継続的な参画ニーズを確認した。

事業③

【チマキザサ流通促進事業】

- ・来年度の出荷に向けて出荷用の段ボール箱を受注し、段ボール箱に使用するロゴマークを検討した。



事業④

【普及啓発事業】

- ・京都市生物多様性総合情報サイト「京・生き物ミュージアム」にチマキザサ再生活動の概要や最新情報を発信するためのコンテンツを作成。

得られた成果

- ・総延長105m、総面積0.04haの耐雪性防鹿柵を設置し、集落近傍でチマキザサの保護面積を拡大することができた。
- ・担い手確保ワークショップで実施したアンケートでは、参加者である地域の若年層9名全員が「チマキザサへの関心が深まった」と回答し、「今後も継続して参加したい」との意思を確認した。
- ・チマキザサの啓発活動を行っている花脊小中学生が、出荷用段ボール箱に使用するロゴマークを作成した。
- ・京都市生物多様性総合情報サイト「京・生きものミュージアム」に掲載するコンテンツを作成し、これまでのチマキザサ再生における活動内容等を取りまとめた。また、厄除け粽を作っている地元の方々にインタビューを実施し、チマキザサに対する思い等を実際に聞くことができた。

